

★『富士宮市地域見守りあんしん事業』の展開に発展!

地区社会福祉協議会からの提言
新聞配達員の協力による「新たな安否確認体制」を構築

① ある地区社会福祉協議会では、ボランティアの『見守り支援員』が、一人暮らしの高齢者等を見守る活動を行っています。

ところが、自宅で亡くなってから数日経っている方を発見するということが、2例続いてしまいました。もっと早く異変に気づいていれば、救える命もあったかもしれません。

そこで、地域の方達で話し合いをもったところ、亡くなっていた高齢者の自宅には、「新聞が何日分か溜まっていた」ことが分かりました。

② この話し合いの結果を受け、地区社協の方達は、「『見守り支援員』だけではなく、新聞配達員にも『異変の早期発見や連絡』をお願いができないのか?」ということをも、地域包括支援センターに提案しました。

地域包括支援センターは、『異変の早期発見や連絡』について市社会福祉協議会と一緒に検討し、『富士宮市地域見守りあんしん事業』として、平成23年度に、市内全新聞店5者と協定を結ぶことになりました。



『富士宮市地域見守りあんしん事業』協力団体

- H23 市内新聞店5者・市内郵便局
 - H24 市内清掃業者2者・コープ静岡富士センター・中央静岡ヤクルト販売株式会社(公社)富士宮市シルバー人材センター・静岡県LPガス協会東部支部
 - H26 静岡県信用金庫協会(富士宮信用金庫)・東京電力・静岡銀行(市内4店舗)
 - H27 市内タクシー会社・ワタミタクシヨク・富士宮農業協同組合
- と展開しています。(H27年度6月末現在)

協力をいただいた団体から、異変に気づいた時に連絡が入るようになり、福祉相談センターや地域包括支援センターの職員が安否確認に向かうようになりました。地域でも「見守りの輪」が広がっています。

このパンフレットに関する問い合わせ先
富士宮市地域包括支援センター 電話)22-1591

富士宮市は、支えが必要な身近な人を孤立させない、
「新たな絆による、皆で支える地域づくり」
を目指します

地域では様々な問題が起きています

地震の時に避難ができない。困ったわ!

100万円の布団を買っちゃったけど...

だから今、あなたの力を貸してください!

仕事も辞めた。外に出れない...

子供が泣き止まない。どうしたらよいの...

家がわからない...

福祉の困りごとは相談窓口へ御連絡ください

あなたの一声が、みんなの笑顔をつくれます

みんなで助け合いましょう!



地域からの「あれ!いつもと違う」「大丈夫かしら?」の気づきで、早期発見!

市福祉社会福祉協議会(社協)が支援

自分で

自分一人で抱え込まないで!
●自分だけの力では、解決できないことがあります。頑張りすぎずにSOSの声を、周りの人に伝えてください。

地域の皆で支える

地域力で早期発見・早期解決。地域の皆で見守ります!
●地域での日常적인見守り
・隣近所の声かけや地域の皆さんの目配り・気配り
・自治会の役員や自主防災組織による見守り
・民生委員、児童委員による見守り

●地区社会福祉協議会での見守り
・地域の協力者による、日常の見守りや声かけ
・地域の中で気軽に集まれるサロン(寄り合い処)

●地域の事業所・学生等を見守り
・新聞配達員、郵便配達員、宅配業者等、配達時における異変の早期発見や、相談機関への連絡
・商店コンビニ等で気になる人の見守りや相談機関への連絡(店員・学生さん)

●地域での対応が困難な問題を専門機関へつなぐ役割
・民生委員、児童委員、区長、町内会長、班長等
・地区社協の役員等

地域の身近な人に相談しましょう! 民生委員・児童委員・区長・町内会長等

地域でどんなことができるか、皆で話し合しましょう!

皆で一緒に考える話し合い

「地域では解決できない福祉の困り事」を相談!

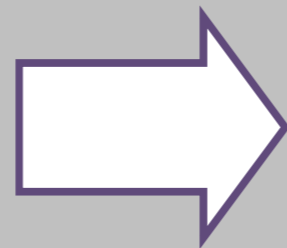
地域ケア会議の開催(皆で支えるネットワークの構築)

専門機関(医療・介護・福祉分野等)と地域(地区社協・民間事業所・NPO・ボランティア等)で一緒に支援チームを組み、個別支援策を検討します。また、地域課題の解決にもあたります。

★総合支援の窓口へ相談★

福祉相談センターにご相談ください。(身近な地域の相談窓口)

- ・地域の皆さんと一緒に考えます!
- ・地域の様々な生活支援サービスを提供できるような体制づくり



富士宮市地域包括支援センター(広域的な問題の相談窓口) 権利擁護・虐待・解決困難な問題等

専門機関と地域を地域包括支援センターが調整します。

地域の課題を市全体で検討する場(地域包括ケアネットワーク会議)メンバー(地域住民代表、専門機関・団体)新たな社会資源の創造、市に政策提言をしていく場